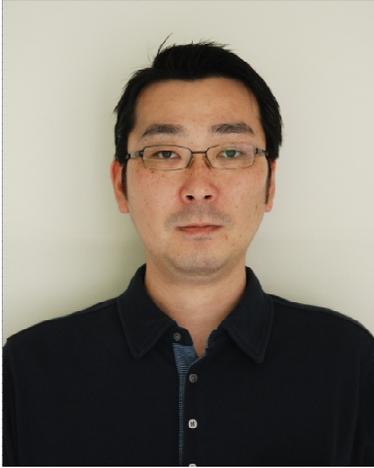


## 菅原 裕文（すがわら ひろふみ）氏プロフィール



1974年横浜市生まれ。早稲田大学博士後期課程修了。文学博士。日本学術振興会特別研究員、早稲田大学文化構想学部表象メディア論系助手を経て、現在は早稲田大学文学部非常勤講師を勤める。論文に「エレウサ型聖母子像における受難の含意」『美術史研究』42冊（2004年）「カッパドキアにおける慈愛の聖母の受容」『美術史』162冊（2007年）。翻訳に「名と形の間— エレウサ型聖母子像とブラケルネ信仰」『聖地と聖人の東西—起源はいかに語られるか』勉誠出版（2011年8月）、「優しさの形—エレウサ型アンナ像の出現とその意義」『地中海学研究』第35号（2012年5月）。